資料１

平塚市在宅医療・介護連携推進事業の取組について

令和元年度の取組

（ア）地域の医療・介護の資源の把握

（平塚市在宅医療・介護連携支援センター）

○医療機関、介護事業者等の所在地等の情報収集

医師会・歯科医師会・薬剤師会の会員を対象とした医療機関等を把握した。神奈川県への登録情報から介護事業所を把握した。

○医療・介護の資源のリスト又はマップの作成と活用（ホームページでの情報提供）

市内介護事業所における「ひらつか介護サービス（医療対応）一覧」の内容を更新した。

また、「介護タクシー・福祉有償運送情報一覧」を作成した。

○医療者とケアマネジャーを繋ぐ「連絡票」の活用状況のアンケートを実施

○ひらつかわくわくマップの更新

平塚市ホームページ（ひらつかわくわくマップ医療介護ページ）で市内の医療機関、介護事業所の位置情報を更新した。（市）

（イ）在宅医療介護連携の課題の抽出と対応策の検討

○平塚市在宅医療介護連携推進協議会の開催

令和元年８月２９日開催

協議会の概要と平塚市の取組について

令和元年１１月２１日開催

平塚市在宅医療介護連携推進事業の課題整理について

令和２年３月３１日開催（書面会議）

認知症総合施策について

（ウ）切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

○終末期に向けた活動支援事業検討会を開催（年６回）など（書面会議含む）

エンディングノートの作成や終末期に向けた活動支援事業の検討を行った。

また、高齢者施設における救急搬送の手引きについて検討を行った。

平塚市内の介護事業所における「ひらつか介護サービス（医療対応）一覧」の内容を精査するとともに関係機関に配布した。

（エ）医療・介護関係者の情報共有の支援

○医療機関と介護事業所の情報共有

情報共有ツールとして「ひらつか安心ファイル」、「ひらつかあんしんカード」、「入院時退院時情報提供書」を活用した。

（オ）在宅医療・介護連携に関する相談支援

（平塚市在宅医療・介護連携支援センター）

○在宅医療と介護の連携を支援する相談窓口の運営

地域の在宅医療・介護連携を支援するために地域の医療・介護関係者、地域包括支援センター等に対し在宅医療・介護連携に関する相談支援を行った。

○医療・介護関係者からの在宅医療・介護連携に関する相談への対応等

相談を受けた困難ケースについては三師会と協力して対応した。医療・介護に関する情報を連携支援センターホームページなどで情報提供を行った。

（カ）医療・介護関係者の研修

（平塚市在宅医療・介護連携支援センター）

○多職種が連携するためのグループワーク等を活用した研修

・三師会と協力して、６月８日に「知っておきたいＡＣＰ」として「もしバナゲーム」を題材にし、医療関係者、介護事業者、地域包括支援センター職員を対象に人材育成セミナーを開催した。

・「看取りの事例」を通じて病院看護師と訪問看護師の意見交換会を９月７日に実施。「看取りの視点」について事例を通じて多職種連携について令和２年１月１５日研修会を実施。

○医療・介護関係者に対する研修

・「難病」をテーマに広域のケアマネジャーが７月３日に合同研修を実施。「退院時の情報共有」をテーマにケアマネジャーと病院看護師の連携の会を７月１７日実施。９月１８日に地域包括サポート医・在宅支援拠点薬局と高齢者よろず相談センターとの合同研修会を開催し、事例検討を行った。

・在宅・施設で働く医療者、介護職の「医療知識とケアの学びシリーズ」として、医師、訪問看護師等を講師として令和元年度は「癌」「老衰」「褥瘡」「整形外科」の医療・介護の知識の共有を図った。

（キ）地域住民への普及啓発

（平塚市在宅医療介護連携支援センター）

○「将来に備え、あなたが選ぶ高齢者の住まいについて」として、高齢者の住まいについて施設の種類などについて住民向けの講演を行った。

場所：南部福祉会館（６月２８日）、西部福祉会館（９月３０日）、
　　リフレッシュプラザ（７月２６日）

講師：ベネッセの介護相談室

（ク）在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携

○関係市町との連携

茅ヶ崎保健福祉事務所にて開催する「在宅医療介護連携推進事業における茅ヶ崎・寒川近隣地域の情報交換会」に参加した。（茅ヶ崎市、寒川町、藤沢市、厚木市、海老名市）

・令和元年６月２１日（在宅医療介護連携推進事業について）

・令和元年１０月１１日（窓口相談について）

平塚保健福祉事務所にて開催する「地域包括ケアシステム及び在宅医療・介護連携の推進に係る三市二町意見交換会」に書面で参加した。

・令和２年３月４日

・その他

・認知症総合施策における市民への普及啓発として、ＶＲ認知症体験会（１１月１２日）や、アルツハイマー月間イベント（９月）、認知症シンポジウム（２月１６日）を開催した。

・日本認知症ケア学会大会において平塚市の認知症施策の取組や初期集中支援事業の取組についてシンポジウムで発表を行った。（５月２６日）

・平塚市在宅医療・介護連携支援センターの役割や運営、業務等について、日本在宅医療連合学会で報告を行った。（７月１４日、１５日）

令和２年度の取組（予定）

（ア）地域の医療・介護の資源の把握

（平塚市在宅医療介護連携支援センター）

〇医療機関、介護事業者等の所在地等の情報収集

・三師会の会員を対象とした医療機関等情報を把握、神奈川県への登録情報から介護事業所の最新情報を得る。

・平塚市内高齢福祉施設独自の救急搬送時の情報提供、DNAR 書面の情報収集を行う。

〇医療・介護の資源のリスト又はマップの作成と活用（ホームページでの情報提供）

市内介護事業所における「ひらつか介護サービス（医療対応）一覧」の内容に非常用電源等に関する調査事項を追加し更新した。

「介護タクシー・福祉有償運送情報一覧」の内容を更新した。

〇ひらつかわくわくマップの更新

平塚市ホームページ（ひらつかわくわくマップ医療介護ページ）で市内の医療機関、介護事業所の位置情報を更新する。（市）

（イ）在宅医療介護連携の課題の抽出と対応策の検討

〇平塚市在宅医療介護連携推進協議会の開催

令和２年８月

令和２年１１月予定

令和３年３月予定

認知症総合施策についてなど

（ウ）切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

〇終末期に向けた活動支援事業など

終末期における意思表示について支援をするために、エンディングノートなどの活用を含めた事業を行う（令和２年１０月から試行、令和３年から本格実施予定）。

また、高齢者施設における救急搬送の手引きについて検討会を開催する（救急連絡シートを配布予定）。

平塚市内の介護事業所における「ひらつか介護サービス（医療対応）一覧」の内容を精査するとともに関係機関に配布した。

（エ）医療・介護関係者の情報共有の支援

〇医療機関と介護事業所の情報共有

情報共有ツールとして「ひらつか安心ファイル」、「ひらつかあんしんカード」、「入院時退院時情報提供書」を活用する。

（オ）在宅医療・介護連携に関する相談支援

（平塚市在宅医療介護連携支援センター）

〇在宅医療と介護の連携を支援する相談窓口の運営

地域の在宅医療・介護連携を支援するために地域の医療・介護関係者、地域包括支援センター等に対し在宅医療・介護連携に関する相談支援を行う。

〇医療・介護関係者からの在宅医療・介護連携に関する相談への対応等

相談を受けた困難ケースについては三師会と協力して対応した。医療・介護に関する情報を連携支援センターホームページなどで情報提供を行う。

（カ）医療・介護関係者の研修（新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため実施形式を検討中）

（平塚市在宅医療介護連携支援センター）

〇多職種が連携するためのグループワーク等の研修

・入院中の介護保険申請の書面及び運用について病院・包括・行政と意見交換会

・「看取り」をテーマに医療・介護関係者、施設職員を対象とした人材育成セミナー開催。

〇医療・介護関係者に対する研修

在宅・施設で働く医療者・介護者を対象に「医療知識とケアの学びシリーズ」として全４回それぞれ医師、訪問看護師等を講師に開催する。

また、「循環器」など特定した「ケアマネジメントの標準化（ケアプラン）」を学ぶ研修会を開催する。

（キ）地域住民への普及啓発（実施形式を検討中）

（平塚市在宅医療・介護連携支援センター）

〇地域住民向け講演会などの開催

・介護予防教室等地域からの依頼で職員が講義を行う。また、社会福祉協議会と共催でＡＣＰについての講演会を開催する。

・平塚市内高齢福祉施設と消防本部作成の「救急連絡シート」について意見交換会を開催する。

（ク）在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携

〇関係市町との連携

三市二町意見交換会への参加、隣接圏域（茅ヶ崎市、寒川町）との情報交換会への出席、湘南西部病院協会が進める県補助金事業「medical　BIG　net」構想に協力を行う。